

北太平洋地域計画会合の開催について

Regional Planning Workshop for the North Pacific and Western Pacific Marginal Seas towards the UN Decade of Ocean Science for Sustainable Development

- 2021年から開始する「国連海洋科学の10年」の実施計画策定に向けて、実施期間中に、北太平洋地域において、重点的に推進・活動していくべき事柄について意見交換を実施。
- 北太平洋・西太平洋縁域国の海洋科学関係者、NGO、企業、省庁関係者等18か国160名以上が参加。

基本情報

1. 日 程 令和元年7月31日(水)～8月2日(金)
2. 場 所 イイノホール(東京都千代田区)
3. 主 催 ユネスコIOC(WESTPAC:西太平洋地域小委員会)
共 催 IOC分科会、北太平洋海洋科学機構(PICES)
4. 協 力 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
東京大学大気海洋研究所(AORI)

会合のポイント

●「国連海洋科学の10年」の達成目標となっている6つの社会的成果<①きれいな海、②健康的で回復力を持つ海、③予測可能な海、④安全な海、⑤持続的な収穫と生産力のある海、⑥透明性がありアクセス可能な海>(仮訳)に即して、各成果を達成するために今後必要となる事柄を議論。

(主な意見)

- 域内の知識格差の解消、科学的優先事項の順位付けのための国際的イニシアチブやパートナーシップ強化が必要。
- 能力開発、海洋科学技術移転やデータ共有の促進は「10年」成功の鍵となる事項。
- 「10年」の実施期間を担う若手研究者の巻き込みは特に重要。

⇒今後、検討結果を第2回グローバルレベル計画会合で報告し、実施計画の全体的な方向性をとりまとめ。(2020年)



▲開会式(IOC,WESTPAC,バンコク事務所、国内委事務局、内閣府海洋本部、PICESから登壇)



▲6つのWGに分かれて議論



▲ポスターセッションで日本の海洋教育に関する取組を紹介。



▲プラスチックを使わない会議運営(紙のネームカードと組紐の首かけ)